

日本語版

2026年度入学者用/For students enrolled in 2026

演習指導募集 Seminar Guide

※ 個人情報が含まれているので、取り扱いには十分注意すること。

※ Be careful with this information as it contains personal information.

日本語版

2026年度入学者用/For students enrolled in 2026

特殊研究募集 Sub-Seminar Guide

※ 個人情報が含まれているので、取り扱いには十分注意すること。

※ Be careful with this information as it contains personal information.

2026年度 演習募集教員一覧/List of Faculty Members

理論分析講座/Theoretical Analysis

頁/Page	教員名/Lecturer	研究領域/Research Fields	メールアドレス/E-mail
①-1	芦谷 政浩 ASHIYA Masahiro	ミクロ経済学(Microeconomics)	ashiya@econ.kobe-u.ac.jp
①-2	清水 崇 SHIMIZU Takashi	ミクロ経済理論(Microeconomic Theory)	shimizu@econ.kobe-u.ac.jp
①-3	小林 照義 KOBAYASHI Teruyoshi	ネットワーク科学、マクロ経済学、金融政策 (Network Science, Macroeconomics, Monetary Policy)	kobayashi@econ.kobe-u.ac.jp
①-4	宮川 栄一 MIYAGAWA Eiichi	ゲーム理論・行動経済学 (Game Theory, Behavioral Economics)	miyagawa@econ.kobe-u.ac.jp

歴史分析講座/Historical Analysis

頁/Page	教員名/Lecturer	研究領域/Research Fields	メールアドレス/E-mail
②-1	橋野 知子 HASHINO Tomoko	近現代日本経済史、数量経済史、経済発展論 (Economic History of Modern Japan, Quantitative Economic History, Development Economics)	hashino@econ.kobe-u.ac.jp
②-2	中岡 俊介 NAKAOKA Shunsuke	欧米近現代経済史、比較経済史 (Economic History of Europe and the US, Comparative Economic History)	nakaoka@econ.kobe-u.ac.jp

計量・統計分析講座/Statistics and Econometric Analysis

頁/Page	教員名/Lecturer	研究領域/Research Fields	メールアドレス/E-mail
③-1	末石 直也 SUEISHI Naoya	計量経済学(Econometrics)	sueishi@econ.kobe-u.ac.jp
③-2	難波 明生 NAMBA Akio	統計学・計量経済学 (Statistics, Econometrics)	namba@econ.kobe-u.ac.jp
③-3	松林 洋一 MATSUBAYASHI Yoichi	国際マクロ経済学の実証分析 (Empirical Analysis of International Macroeconomics)	myoichi@econ.kobe-u.ac.jp
③-4	茂木 快治 MOTEGI Kaiji	計量経済学・時系列分析 (Econometrics, Time Series Analysis)	motegi@econ.kobe-u.ac.jp

技術・環境分析講座/Statistics and Econometric Analysis

頁/Page	教員名/Lecturer	研究領域/Research Fields	メールアドレス/E-mail
④-1	阪本 浩章 SAKAMOTO Hiroaki	応用理論、数値計算 (Applied theory, numerical methods)	sakamoto@econ.kobe-u.ac.jp
④-2	柘植 隆宏 TSUGE Takahiro	環境経済学(Environmental Economics)	教務係(econ-kyomu@office.kobe-u.ac.jp)
④-3	中村 健太 NAKAMURA Kenta	イノベーションの経済学・企業経済学 (Economics of innovation, Economic of the firm)	knakamura@econ.kobe-u.ac.jp

比較経済政策講座/Comparative Economic Policy

頁/Page	教員名/Lecturer	研究領域/Research Fields	メールアドレス/E-mail
⑤-1	梶谷 懐 KAJITANI Kai	中国経済論、開発経済論 (Chinese Economy, Developing Economy)	kajitani@econ.kobe-u.ac.jp
⑤-2	金京 拓司 KINKYO Takuji	マクロ経済・金融実証分析 (Empirical Analysis in Macroeconomics and Finance)	kinkyu@econ.kobe-u.ac.jp
⑤-3	佐野 晋平 SANO Shinpei	教育経済学、労働経済学(Economics of Education, Labor Economics)	sano@econ.kobe-u.ac.jp
⑤-4	古田 学 FURUTA Manabu	開発経済論、国際経済学、インド経済 (Development Economics, International Economics, Indian Economics)	furuta@econ.kobe-u.ac.jp
⑤-5	ヴィエシボフスカ アガタ WIERZBOWSKA Agata	銀行システム・金融政策；ヨーロッパ経 済と統合(Banking Sector and Monetary Policy, European Economy and Integration)	wierzbowska@econ.kobe-u.ac.jp

産業・社会政策講座/Industrial and Social Policy

頁/Page	教員名/Lecturer	研究領域/Research Fields	メールアドレス/E-mail
⑥-1	衣笠 智子 KINUGASA Tomoko	農業政策・人口政策(Agricultural policy and population policy)	kinugasa@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-2	鈴木 純 SUZUKI Jun	経済体制論(Theories and Thoughts of Economic Systems / Nonprofit Economy)	suzukij@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-3	藤岡 秀英 FUJIOKA Yoshihide	社会政策、地域創生論(Socialpolicy Socialsecurity, Regional Revitalization Theory)	fujioka@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-4	水野 倫理 MIZUNO Tomomichi	産業組織論の理論的研究 (Theory of Industrial Organization)	mizuno@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-5	山岡 淳 YAMAOKA Atsushi	社会保障(医療・介護・年金・福祉等)・医療 経済学・社会政策(Health Policy, Health Economics, Social Policy)	yamaoka@econ.kobe-u.ac.jp
⑥-6	勇上 和史 YUGAMI Kazuhumi	労働経済学(Labor Economics)	yugami@econ.kobe-u.ac.jp

金融・公共政策講座/Monetary and Public Policy

頁/Page	教員名/Lecturer	研究領域/Research Fields	メールアドレス/E-mail
⑦-1	岩壺 健太郎 IWATSUBO Kentaro	ファイナンス、国際金融 (Finance, International Finance)	iwatsubo@econ.kobe-u.ac.jp
⑦-2	大坪 陽一 OTSUBO Yoshichi	ファイナンス (Finance)	otsubo@econ.kobe-u.ac.jp
⑦-3	畳谷 整克 TATAMITANI Yoshikatsu	メカニズムデザイン、公共経済学 (Mechanism Design, Public Economics)	tatamitani@econ.kobe-u.ac.jp
⑦-4	西山 慎一 NISHIYAMA Shin-ichi	金融論、金融政策、マクロ経済学(特にDSGE モデル)(Monetary Economics, Monetary Policy, Macroeconomics)	nishiyama@econ.kobe-u.ac.jp
⑦-5	宮崎 智視 MIYAZAKI Tomomi	財政学・公共経済学 (Public Finance/Public Economics)	miyazaki@econ.kobe-u.ac.jp

国際経済政策講座/International Economic Policy

頁/Page	教員名/Lecturer	研究領域/Research Fields	メールアドレス/E-mail
⑧-1	胡 云 芳 HU Yunfang	国際経済学・マクロ経済学 (International Economics, Macroeconomics)	yhu@econ.kobe-u.ac.jp

経済経営研究所/Research Institute for Economics and Business Administration

頁/Page	教員名/Lecturer	研究領域/Research Fields	メールアドレス/E-mail
⑨-1	明坂 弥香 AKESAKA Mika	労働経済学、行動経済学 (Labor Economics, Behavioral Economics)	mika_akesaka@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-2	岩佐 和道 IWASA Kazumichi	国際経済学、マクロ経済動学(International Economics, Macroeconomic Dynamics)	iwasa@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-3	上東 貴志 KAMIHIGASHI Takashi	経済理論、マクロ経済動学、計算社会科学 (economic theory, macroeconomic dynamics, computational social science)	tkamihig@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-4	北野 重人 KITANO Shigeto	国際マクロ経済学 (International Macroeconomics)	kitano at rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-5	佐藤 隆広 SATO Takahiro	現代インド経済論 (Studies in the Indian Economy)	takahirodevelop@gmail.com
⑨-6	柴本 昌彦 SHIBAMOTO Masahiko	マクロ経済政策、景気循環変動に関する実証 分析(Empirical studies on macroeconomic policies and business cycles)	shibamoto@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-7	潘 俊毅 SHEN Junyi	行動経済学、応用計量経済学(Behavioral Economics, Applied Econometrics)	shen@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-8	浜口 伸明 HAMAGUCHI Nobuaki	空間経済学、地域産業政策 (Spatial economics, Regional industrial policy)	hamaguchi@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-9	村上 善道 MURAKAMI Yoshimichi	ラテンアメリカ経済論、開発経済学、貿易実証 (Latin American Economy, Development Economics, Empirical Analysis on International Trade)	y-murakami@rieb.kobe-u.ac.jp
⑨-10	家森 信善 YAMORI Nobuyoshi	金融システム(Financial System)	yamori@rieb.kobe-u.ac.jp

※ 各教員のメールアドレスは個人情報ですので、取り扱いには十分注意してください。
Be careful with this information as it contains personal information.

① 理論分析講座

教 員 名	芦 谷 政 浩 教 授	①-1
専 門 分 野	ミクロ経済学	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>ミクロ経済学の理論的研究を行なう。ゼミの進め方は、学生と相談の上で決定する。所属ゼミ生は、最低でも毎週10本以上の英語論文を読むこと。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>Game Theory Analysis of Platform Information</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>メールによるアポイントメント</p>		
連 絡 先	ashiya@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	清 水 崇 教 授	①-2
専 門 分 野	ミクロ経済理論	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム理論、サーチ理論、組織の経済学などを含むミクロ経済理論に基づく理論研究の指導を行います。 ・具体的には、まず各学生の関心に従って選んだ教科書、論文の報告を通じて課題を明確にし、それに基づいて論文を作成してもらいます。 ・学部レベルのミクロ経済学、経済数学の知識を前提とします。 ・必ずオフィスアワーに参加してください。 <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>“A Search Theory of Electronic Money” 「参照点依存性がもたらす遅延合意のメカニズム 片側提案交渉ゲームによる理論分析」 「IAアルゴリズムの再検討とその拡張」</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法 : 面 接 二次募集締切での選考方法 : 面 接</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>メールによるアポイントメント</p>		
連 絡 先	shimizu@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	小 林 照 義 教 授	①-3
専 門 分 野	ネットワーク科学、マクロ経済学、金融政策	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>ネットワーク科学は、経済・社会的現象の背後にあるメカニズムやダイナミクスを探究する学際的な学問領域です。研究分野は、ネットワークの実データ解析、マクロ経済モデル、ネットワークゲーム理論など様々です。学生は、数学や統計学、プログラミングのスキルの習得が期待されます。データサイエンスに興味がある方や、数理モデルを通じてネットワーク現象を研究したい方を歓迎します。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>ネットワークゲームにおける動学的安定性に関する分析</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法 : 面接 二次募集締切での選考方法 : 面接</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>メールによるアポイントメント可</p>		
連 絡 先	kobayashi@econ.kobe-u.ac.jp	

② 歴史分析講座

教 員 名	中 岡 俊 介 教 授	②-2
専 門 分 野	欧米近現代経済史、比較経済史	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>近年歴史経済学や新制度派経済学の発展に伴い、欧米での経済史のあり方は大きく変化しました。そのことを踏まえた上で、最新の研究動向などを理解し、自分の研究を進めていく希望を持つ学生を歓迎します。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>着任後日が浅いため、現時点ではなし。</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法 : 面 接 二次募集締切での選考方法 : 面 接</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>事前にメールでアポイントメントを取ってください。希望する場合は、ZOOMでも対応します。</p>		
連 絡 先	nakaoka@econ.kobe-u.ac.jp	

③ 計量・統計分析講座

教 員 名	松 林 洋 一 教 授	③-3
専 門 分 野	国際マクロ経済学の実証分析	
ゼミの内容と学生への要望		
学部レベルのマクロ経済学、計量経済学の知識はすでに習得していること。		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
The Impact of Immigrants on Trade: Evidence from Japan		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ		
オフィスアワー		
メールにて要相談		
連 絡 先	myoichi@econ.kobe-u.ac.jp	

④ 技術・環境分析講座

教 員 名	阪 本 浩 章 准教授	④-1
専 門 分 野	応用理論, 数値計算	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>経済学の理論に関する研究論文を執筆します。ミクロでもマクロでも構いません。希望する学生はオフィスアワーに参加してください。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
なし		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法 : 面接とテストを併用 二次募集締切での選考方法 : 面接とテストを併用		
オフィスアワー		
メールでアポイントメントをとってください。		
連 絡 先	sakamoto@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	柘 植 隆 宏 教 授	④-2
専 門 分 野	環境経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>この演習のテーマは環境経済学の実証研究です。演習では参加者が先行研究や自身の研究についての発表を行います。ミクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学の学部レベルの知識を持っていることを前提とします。また、RやStataなどのソフトウェアの使い方を身につけることが求められます。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
なし		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ		
オフィスアワー		
メールでアポイントメントをとってください。		
連 絡 先	教務係(econ-kyomu@office.kobe-u.ac.jp)まで連絡ください。	

教 員 名	中 村 健 太 准教授	④-3
専 門 分 野	イノベーションの経済学・企業経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>企業行動、産業構造、イノベーション、知的財産権制度などに関連した実証研究に興味がある学生を募集します。ゼミの履修を検討している場合は、オフィスアワーに参加してください。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>“How COVID-19 pandemic transformed multinational R&D collaboration” “Innovation and Income Inequality from a Spatial Perspective: Evidence from Japanese Prefecture Panel Data”</p>		
募集・選考の方法		
<p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ</p>		
オフィスアワー		
<p>個別に対応します。メールでアポイントメントをとってください。</p>		
連 絡 先	knakamura@econ.kobe-u.ac.jp	

⑤ 比較經濟政策講座

教 員 名	梶 谷 懐 教 授	⑤-1
専 門 分 野	中国経済論、開発経済論	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>中国を中心としたアジア諸国の経済発展について、開発経済学ならびに歴史分析を含む制度の経済学の視点から検討を加えます。ミクロ・マクロ経済学に関する大学学部レベルの知識、ならびに学術的な文献を読みこなせるだけの英語力を習得していることを要件とします。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>中国における排出権取引の導入が環境改善に与える影響の分析、中国の最低賃金の引き上げが都市失業率に与える影響の分析など</p>		
募集・選考の方法		
<p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ</p>		
オフィスアワー		
<p>第1回 : 4月8日(水) 12:30~13:20、第2回 : 4月10日(金) 17:00~18:00 いずれも研究室(兼松記念館215)で行います。</p>		
連 絡 先	kajitani@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	金 京 拓 司 教 授	⑤-2
専 門 分 野	マクロ経済・金融実証分析	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>マクロ経済・金融に関する研究テーマで、計量経済学や機械学習の手法を用いた実証分析を行いたい学生を歓迎いたします。統計学の基本的知識を有しており、計量経済ソフトウェア（R、Pythonなど）の使い方を独学で学ぶことが必須です。本教員は3年後に定年予定ですので、後期課程進学希望者は他のゼミを選択してください。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>為替レート予測におけるLSTMモデルの比較分析、Global Risk Shocks and Regional Transmission: A BGVAR Analysis of the Asia-Pacific Region</p>		
募集・選考の方法		
<p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ</p>		
オフィスアワー		
<p>Eメールでアポイントメントを取ってください。</p>		
連 絡 先	kinky@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	古 田 学 准 教 授	⑤-4
専 門 分 野	開発経済論、国際経済学、インド経済口	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>インドをはじめとする途上国経済における経済発展に関し、開発経済学ならびに国際経済学の視点から実証的に検証を行います。応募の要件としては、1) ミクロ・マクロ経済学に関する大学学部レベルの知識、2) 学術的な文献を読みこなせるだけの英語力、3) 途上国経済への関心、となります。また、ゼミに所属してからが良いですが、Stataをはじめとする統計ソフトの習熟が必須となります。ゼミへの参加希望者は事前にメールでアポイントメントをとり、教員面談を行ってください。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>なし。</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>メールでアポイントメントを取ってください。</p>		
連 絡 先	furuta@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	Agata WIERZBOWSKA 准教授	⑤-5
専 門 分 野	銀行システム・金融政策；ヨーロッパ経済と統合	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>このゼミでは、金融政策・銀行システムとヨーロッパ経済の実証分析をテーマにします。金融政策の効果、銀行システムの状態と役割やヨーロッパ経済・統合などに興味を持つ学生を歓迎します。 ゼミ中は、先行研究や専門教科書の発表、自身の研究の発表を行います。 ゼミへの参加希望者は、事前にメールでアポイントメントをとり、教員と面談を行ってください。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>Spillover Effect of UK Financial Market on the Major Global Stock Market EU諸国への欧州中央銀行の非伝統的な金融政策の波及効果について Booms, Crisis and Rebounds ~Determinants of the Economic Fate in European countries~</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>メールでアポイントメントを取ってください。</p>		
連 絡 先	wierzbowska@econ.kobe-u.ac.jp	

⑥ 産業・社会政策講座

教 員 名	衣 笠 智 子 教 授	⑥-1
専 門 分 野	農 業 政 策 ・ 人 口 政 策	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>人口・農業・食料のいずれかに関連した研究をする学生を歓迎します。ゼミでは、主に、計量分析により修士論文を書くように指導します。私の指導学生は、都道府県、世界各国、中国の省別、個票データ、時系列データなどのデータを使って計量分析により論文を書いてきました。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>日本における男女別結婚状況と社会経済要因、農協と日本農業の発展に関する考察、中国における出生性比に関する計量的研究、フィリピンの人口変化と経済成長に関する計量的研究□</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>Eメールによるアポイントメント。4月17日正午までにメールを送付してください。</p>		
連 絡 先	kinugasa@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	鈴 木 純 教 授	⑥-2
専 門 分 野	経済体制論	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>以下のようなテーマを研究対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済体制論（福祉国家論を含む）に関する理論的・学説史的・思想史的研究 ・ 非営利経済部門（組織）， サード・セクターに関する理論的・実証的研究 		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>「T. H. グリーンの自由と公共善 - 共生社会の思想構築に向けた考察 -」， 「社会的企業の意思決定構造に関する考察」，「サード・セクターと地方公共団体のパートナーシップ」</p>		
募集・選考の方法		
<p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ</p>		
オフィスアワー		
<p>メールで連絡してください（メールタイトルを「大学院オフィスアワー希望」としてごさい）。</p> <p>★鈴木ゼミを希望する場合は、必ず事前に相談してください。</p>		
連 絡 先	suzukij@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	藤 岡 秀 英 教 授	⑥-3
専 門 分 野	社会政策、地域創生論	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>社会政策の研究テーマとして、日本国内外を問わず、福祉国家、社会保障、社会福祉、さらに地域創生論についての原理的研究と現地調査をふまえた実証的研究に取り組む方を募集します。 とくに、文献研究と現地調査に取り組む意欲がある人が望ましいところです。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>フランスでの外国人季節労働者、フリーランスと社会保障、障害者の就労支援</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法 : 面 接 二次募集締切での選考方法 : 面 接</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>電子メールで都合のよい日時を連絡してください。</p> <p>対面もしくはZoomでのオンライン面接を行います。</p>		
連 絡 先	fujioka@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	水 野 倫 理 教 授	⑥-4
専 門 分 野	産 業 組 織 論 の 理 論 的 研 究	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>ゲーム理論を用いて産業組織論の理論的な分析を行いたい学生が集まるゼミです。 データを用いた研究や特定の産業に注目する研究に対する指導はできません。 ゼミへ応募する場合、事前に面談を行ってください。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>Endogenous Privacy and Heterogeneous Price Sensitivity 複占市場における経営者の自信過剰と株式保有に関する研究</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>メールでアポイントメントを取ってください。</p>		
連 絡 先	研究室 : 兼松記念館102, メールアドレス : mizuno@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	山 岡 淳 准 教 授	⑥-5
専 門 分 野	社会保障（医療・介護・年金・福祉等）・医療経済学・社会政策	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>■ゼミの内容：ゼミでは社会保障に関連するテーマでの実証研究を行います。 ■学生への要望：研究テーマの設定にあたっては、具体的な社会や政策の課題を想定していただくことを強く勧めます。なおゼミ生には2週間に1回以上の報告を求めます。私は神戸市のヘルスケアデータベースを用いた救急搬送体制をテーマにした研究プロジェクトを実施中です。当該領域を研究テーマとする学生を優先的に採用します。詳細はホームページをご確認ください。https://ymok.info/</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>「定年延長と消費行動に関する実証研究」「介護の待遇改善が労働需要に与える影響」「コロナ禍における外出規制がメンタルヘルスに与える影響」「社会保障への態度の決定要因」等</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法：書類審査のみ 二次募集締切での選考方法：面接</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>一次審査への応募希望者はメールにより個別のアポイントを取ってください。 その際に、候補となる日時を3つ以上指定していただけると日程の調整がスムーズに行えま</p>		
連 絡 先	yamaoka@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	勇 上 和 史 教 授	⑥-6
専 門 分 野	労働経済学	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>このゼミでは、労働経済学をベースとした実証研究を行います。労働市場や労働政策について、理論的・実証的な関心があることを求めます。また計量経済学を用いた実証分析を志す方に関連科目の履修を強く求めます。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>「コロナ後の日本におけるテレワーク選択の実証分析」、「長時間労働が女性の就業継続に及ぼす影響-中国における実証分析」「東日本大震災が収入および雇用に与えた長期的影響の検証」など。</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>メールで個別にアポイントメントを取って下さい。□</p>		
連 絡 先	研究室:第2学舎301, yugami@econ.kobe-u.ac.jp□	

⑦ 金融・公共政策講座

教 員 名	岩 壺 健 太 郎 教 授	⑦-1
専 門 分 野	ファイナンス、国際金融	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>ファイナンス（株式、為替、コモディティ、暗号資産、債券）分野の実証研究、および、機械学習を使ったデータ分析を行いたい大学院生を歓迎します。コンピュータスキルが必須です。PythonまたはRを勉強します。英語で文献が読めることも必要です。マイクロ I、計量経済学、時系列分析を履修することを義務とします。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>“Deep learning for predicting Exchange rate by term structure”“Price Discovery in Gold Futures Markets” 「JASDAQにおける中小企業株式流動性に関する研究」 「金融政策決定会合と株価」</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法 : 面接とテストを併用 二次募集締切での選考方法 : 面接とテストを併用</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>早めにメールでAppointmentをとってください。大学院ゼミの様子は教員HPをご覧ください。</p>		
連 絡 先	iwatsubo@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	大 坪 陽 一 准 教 授	⑦-2
専 門 分 野	ファイナンス	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>ファイナンス領域における実証研究をテーマとします。ファイナンスの理論および計量経済学、特に時系列分析の基礎知識があること、RやMatlabなどの計量ソフトの基礎的な技能を習得していることを要件とします。学術論文の読解、プレゼンテーション、論文執筆など、すべて原則英語で行います。参加希望者はEメールでアポイントをとり、面接をおこなってください。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 面接</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>Emailにて受け付けます。</p>		
連 絡 先	otsubo@econ.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	西 山 慎 一 教 授	⑦-4
専 門 分 野	金融論、金融政策、マクロ経済学（特にDSGEモデル）	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>金融論（特に銀行行動の実証分析）、金融政策、マクロ経済学（特にDSGEモデル）に関心があり、将来的に学術誌に公刊可能な水準の論文を執筆したいと考えている学生を歓迎します。研究指導においてはMATLABあるいはSTATAなどのソフトウェアを利用しますので、ある程度のプログラミングスキルがある学生を希望します。また英語論文を読みこなす高い英語力がある学生を希望します。教員の研究業績については、以下のリンクで確認する事。</p> <p>https://researchmap.jp/read0150020/?lang=ja</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>“The Effect of Monetary Policies on the Profitability of Commercial Banks in China” “A Macro-finance term structure model for South Korea: Comparison of closed economy and small open economy models” 「中国のP2P市場におけるモラルハザードの実証研究」</p>		
募集・選考の方法		
<p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ</p>		
オフィスアワー		
<p>当ゼミを希望する人は、事前にメールにてオンライン面談のアポイントメントを取ってください。オンラインもしくは対面の面談をセットします。</p>		
連 絡 先	nishiyama@econ.kobe-u.ac.jp	

⑧ 国際経済政策講座

教 員 名	胡 云 芳 教 授	⑧-1
専 門 分 野	国際経済学・マクロ経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>国際貿易および経済成長の理論モデルを学び、MatlabやStataなどの関連ソフトウェアを使用してこれらの理論モデルに基づいた定量的な政策分析を行うことに興味のある学生を歓迎します。国際貿易や経済成長の理論モデルに全く興味がない学生は受け入れられませんのでご了承ください。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>“Fiscal Policy and Female Labor Supply”, “Measuring the Change in Production and Value-Added Trade: the Case of Automobile Industry in GVC”.</p>		
募集・選考の方法		
<p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 面接とテストを併用</p>		
オフィスアワー		
<p>メールでアポイントメントを取ってください。</p>		
連 絡 先	yhu@econ.kobe-u.ac.jp	

⑨ 經濟經營研究所

教 員 名	明 坂 弥 香 准 教 授	⑨-1
専 門 分 野	労働経済学、行動経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>労働経済学（家族の経済学等の関連分野も含む）・行動経済学に関する実証研究を行います。学部レベルの経済理論、計量経済学の知識を有していること、英語論文を読めるレベルの英語力を有していることを求めます。当該分野は、データ構築・整理および分析のために多くの作業時間が必要です。その点を十分に理解したうえで参加を検討して下さい。事前に書類審査を行い、通過した方のみ面接を行います。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
なし		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法 : 面 接 二次募集締切での選考方法 : 面 接		
オフィスアワー		
<p>演習への参加を考える学生は、できるだけ早い時期にメールでアポイントをとってください。</p> <p>予定人数に達したら募集を終了します。</p>		
連 絡 先	mika_akesaka@rieb.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	北 野 重 人 教 授	⑨-4
専 門 分 野	国際マクロ経済学	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>Dynamic Stochastic General Equilibrium (DSGE) モデルの枠組みで、国際マクロ経済学(特に新興国)の諸問題を勉強する予定です。基礎的な経済数学の知識が必須です。また、matlabというソフトウェアを用いますので、このソフトウェアの基本的な知識の習得が必要になります。併せて実証研究についても学びますのでVARやLocal Projection等の知識があることが前提になります。ゼミへの参加希望者は、事前にメールでアポイントメントをとり、教員と面談を行ってください。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
The Transmission of Commodity Price Fluctuations to Emerging Economies: Cross-Country Analysis		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 面接		
オフィスアワー		
メールでアポイントメントを取って下さい。		
連 絡 先	kitano@rieb.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	佐 藤 隆 広 教 授	⑨-5
専 門 分 野	現代インド経済論	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>ゼミでは、学部高学年で学ぶマクロ経済学・ミクロ経済学・計量経済学の理解が必須です。TSP、Eviews、STATA、Rなどの統計ソフトの利用にも習熟していれば、なおいっそう、ゼミでの学習が円滑になるかと思いますが、こちらは未経験者でも入ゼミ後に習得すれば問題ありません。取り扱うテーマは相談に応じますが、ゼミではインド経済のデータを利用した何かしらの実証分析を行います。インド経済に関する研究書や研究論文を多数読んでいる学生を歓迎します。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
『インドの銀行部門の効率性に関する実証分析』、『ヒンドゥー教徒相続（改正）法とインド女性の教育—「全国家族健康調査」（2015-16年度）を利用して—』		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ		
オフィスアワー		
演習への参加を考える学生は、必ず、事前に電子メールでアポをとって相談してください。		
連 絡 先	takahirodevelop@gmail.com	

教 員 名	柴 本 昌 彦 教 授	⑨-6
専 門 分 野	マクロ経済政策、景気循環変動に関する実証分析	
<p>ゼミの内容と学生への要望</p> <p>【ゼミの内容】 自身の研究の発表、先行研究の発表、(希望があれば)マクロ時系列分析や金融政策に関する教科書の輪読</p> <p>【学生への要望】 英語の論文を読む能力を有していること。 学部レベルのマクロ経済学と計量経済学の知識を有していること。 マクロ金融政策・景気循環変動・時系列分析に関心のある学生を受け入れます。</p> <p>ゼミの修了生が提出した修士論文の一例</p> <p>「マイナス金利政策が銀行バランスシートに与えた影響」「交渉とマッチングによるコール市場の分析」 「日本銀行の低金利下における金融政策が与える所得格差への影響分析」「石油価格ショックが日本産業に与える影響分析」「中小企業の長期的視野と経営者の取り組み：Causal Forestを用いた実証分析」「銀行パネルデータを用いたマイナス金利政策の影響の分析」「中小企業の企業属性と資金調達手段の関連性に関する考察」「Nowcasting手法を用いた兵庫県四半期GDP成長率推計方法の提案」</p>		
<p>募集・選考の方法</p> <p>一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 面接</p>		
<p>オフィスアワー</p> <p>メールでアポイントメントを取って下さい。演習を希望される際は、必ず事前に面談を行って下さい。</p>		
連 絡 先	shibamoto@rieb.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	浜 口 伸 明 教 授	⑨-8
専 門 分 野	空間経済学、地域産業政策	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>地域単位のデータを使った経済分析を行っています。空間上の人と企業の相互作用や資源配分の最適化に関心がある人、空間計量分析を勉強することに興味がある人を募集します。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
<p>経済特区、高速鉄道、人材誘致政策等の地域経済への影響。グローバル・バリューチェーン参加と生産性の関係。大気汚染の空間分析、最低賃金政策と地域労働市場。高齢化と不動産市場。</p>		
募集・選考の方法		
<p>一次募集締切での選考方法 : 面 接 二次募集締切での選考方法 : 面 接</p>		
オフィスアワー		
<p>メールで面接のアポを取ってください。</p>		
連 絡 先	hamaguchi@rieb.kobe-u.ac.jp	

教 員 名	家 森 信 善 教 授	⑨-10
専 門 分 野	金融システム	
ゼミの内容と学生への要望		
<p>日本の金融システムに関する研究を行っています。私の研究関心については、最近の研究業績を参照してください。 https://www.rieb.kobe-u.ac.jp/faculty/global_finance/n_yamori.html 2年間でしっかりとした修士論文を書くことを目指します。ゼミとして共通図書を読むことはせず、それぞれの研究に対して助言・指導する形で進めます。 私の担当する金融システムの講義を受講してください。 学外者を招いた研究会・シンポジウム（土日を含めて時間帯はさまざま）を1ヶ月に一回程度の頻度で開催していますので、（他の講義の履修に支障がない限り）必ずしも研究テーマに沿わなくても参加することが約束できることをゼミ参加の条件としています。</p>		
ゼミの修了生が提出した修士論文の一例		
「信用金庫のCSR活動とCSR開示の決定要因の分析」		
募集・選考の方法		
一次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ 二次募集締切での選考方法 : 書類審査のみ		
オフィスアワー		
ゼミについて詳しく知りたい場合は、金融システムの講義の際に声をかけてください。4月15日の講義終了後に、希望者がいれば説明します。当該日が不都合な場合、4月11日までに下記に連絡をしてください。別日の日程を調整します。		
連 絡 先	yamori@rieb.kobe-u.ac.jp	

六甲台第1キャンパス建物配置図 Rokkodai 1st Campus

